

ひまわり日記

No. 56

H29.7.27 船橋夏見特別支援学校
校長 小室 いづみ



7月21日（金） 本日は、夏休み一日目。校内では介助員の方も加わり、AEDの研修会が行われました。食堂に集まり、船橋市消防署からお出でいただいた署員の皆さんに指導を頂きました。4つの班に分かれ、実際の胸部圧迫法による心臓マッサージとAEDの使用を全員が体験しました。やらなくてすめば一番良いのですが、万が一の時、慌てず冷静に行うために大切な訓練です。



7月24日（月） 本日は、本校を会場に教育課程研究協議会が行われました。県内の特別支援学校全てが集まり、文部科学省がこの4月に出した新しい学習指導要領の内容を学習します。校長先生方も多くお出でになり、関心の高さも実感します。会場の食堂は人でいっぱいとなりました。

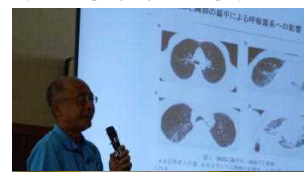


午後からは、文部科学省の特別支援教育調査官である青木氏がお出でになり、『これからの特別支援教育の在り方』という題で講演を行いました。事前に送られた新学習指導要領のデータも膨大で、何百ページにもなります。これからの時代を生きていく生徒のために、必要な教育…とても重く大切な内容です。

7月25日（火）



本日は、県立船橋特別支援学校との合同研修会です。元々、一つの学校でありながら、二つに分かれてしまったため、出来るだけ合同で学ぶ機会を共有しようとの実施です。昨日も研修で使った食堂で、本日は本校の教員が3つの研究発表を行いました。後藤教諭は平成27年度全国肢体不自由教育研究協議会で行った発表をベースに、『からだは動いて育つ episode7』を発表。続いて平成28年度の全国大会で発表した竹野教諭の『医療的ケア・からだの時間と自立活動部の連携』、そして県からの指定研究を今年1月に発表した小田島教諭の『センター的機能の充実を目指して～高校通級に向けた取り組み～』。どれも本校の自立活動部が、チームで取り組んできた成果です。県からの指定研究は今年も行われており、11月に平成29年度の全国大会で発表することが、すでに決まっています。三年連続で全国大会発表は、滅多にない快挙だと言われました。校長の私としては、生徒のために一生懸命の先生方が頑張ってくれている結果だと考えます。とても嬉しく素晴らしいことです。ありがとう。



7月26日（水）

本日は暑さも一段落で、朝から雨…。本当は生徒昇降口前で行われるはずだった、カーペット清掃が体育館の床にシートを敷いて行われました。特別支援学校は生徒が車いすから降りるスペースを確保するためにほとんどの教室にカーペットがあるため、長期休業中には洗濯が欠かせません。古い校舎を使用しているため詰まりがちだった来賓トイレも、



県からの予算が下りて管理棟の女子トイレの配管工事が始まりました。



校内のあちこちでは、生徒の卒業後のために今の指導方法を考える検討会が行われています。皆、真剣…廊下からソッと写してみました。

